

NHK大河ドラマ「真田丸」放送決定に伴う観光客の受入態勢整備計画(H26~27)

【整備の方向性】

1. ハード事業については、放送までの短期間の中で、「トイレ、案内看板、駐車場」の整備を優先的に実施
2. ソフト事業については、「大河ドラマ『真田丸』上田市推進協議会」を中心に、「おもてなしの心」でお客様をお迎えする機運の醸成を図るための誘客宣伝事業を実施
3. 財源として、上田市観光振興基金、上田市交流文化施設基金、地域振興事業基金、土地特別会計、関連補助事業及び合併特例債等を活用
4. 行政と民間が連携して「真田丸」の放送による経済効果を広く享受できる仕組みづくりを推進
5. 施設等の整備は、真田氏ゆかりの地域を中心としながらも市全域の広域観光にも配慮しながら整備
6. 平成27年度実施予定の事業については、今年の実施計画の策定作業の中で、再度精査

施設整備事業(ハード)

上田城跡公園周辺整備事業

「史跡上田城跡整備基本計画」、上田駅前ビル・パレオの活用検討経過を踏まえ、大河ドラマ放送決定を契機に、公園周辺に新たな駐車場を整備します。



- ① やぐら下庁舎を解体し、教育委員会事務局を上田駅前ビル・パレオに移転
- ② やぐら下庁舎の跡地を公園駐車場として整備
- ③ 勤労青少年ホーム、市営プール等を解体し、城跡公園北側駐車場として整備
- ④ 観光客を迎えるための施設整備
観光会館、博物館、山本鼎記念館等



やぐら下庁舎



勤労青少年ホーム



市営プール



山本鼎記念館



観光会館



市立博物館

市街地等整備事業

上田駅を起点に、上田城跡公園や中心市街地を回遊できる統一サイン(看板)を整備するとともに、来訪者の回遊性を図るため循環バスを運行します。



歩行者用サイン

真田地域施設整備事業

真田地域において、真田氏ゆかりの史跡や施設を訪れる観光客の増加が見込まれることから、関連する施設(ゆきむら夢工房、真田氏歴史館等)の駐車場、トイレ、案内看板等を整備し、受入態勢の充実強化を図ります。



ゆきむら夢工房



真田氏歴史館



真田氏館跡



真田氏本城跡

誘客宣伝事業(ソフト)

大河ドラマ「真田丸」を通じて、主人公である真田幸村公の業績と合わせ、幸村公の活躍の舞台である上田市の魅力を広く全国に発信することで、交流人口の拡大に結び付けるため、市・県・関係団体等が連携した「大河ドラマ『真田丸』上田市推進協議会」を設立し、大河ドラマ館の設置・運営を行うとともに、誘客宣伝活動を推進します。

6つのポイント

情報発信

誘客宣伝

おもてなしの態勢整備

大河ドラマ企画展関係

商品開発

広域連携